

平成22年第3回朝日町議会臨時会会議録（第1号）

平成22年8月18日（水曜日）午前10時00分開議

議事日程（第1号）

- 第 1 会議録署名議員の指名
 - 第 2 会期の決定
 - 第 3 議案第38号から議案第40号まで
(提案理由説明、質疑、討論、採決)
-

本日の会議に付した事件

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
 - 日程第 2 会期の決定
 - 日程第 3 議案第38号から議案第40号まで
(提案理由説明、質疑、討論、採決)
-

出席議員（10人）

- 1 番 水 野 仁 士 君
 - 2 番 長 崎 智 子 君
 - 3 番 水 島 一 友 君
 - 4 番 大 森 憲 平 君
 - 5 番 梅 澤 益 美 君
 - 6 番 松 倉 彰 夫 君
 - 7 番 中 陣 將 夫 君
 - 8 番 廣 田 誼 君
 - 9 番 稲 村 功 君
 - 10 番 吉 江 守 熙 君
-

欠席議員（0人）

説明のため出席した者

町	長	脇	四計夫	君
総務部	課長	竹内	寿実	君
民生部	長	大菅	定吉	君
産業部	長	大井	幸司	君
会計管理	者	竹内	忠志	君
出納室	長			
秘書政策	室長	小杉	嘉博	君
財務課	長	道用	慎一	君
住民課	長	数家	善継	君
健康課	長	山崎	富士夫	君
子ども家庭	課長	寺崎	昭彦	君
産業課	長	坂口	弘文	君
建設課	長	小川	雅幸	君
あさひ総合病院	事務部長	山崎	秀行	君
あさひ総合病院	事務部次長	宇田	速雄	君
消防本部	総務課長	笹川	謙一	君
教育長職務代理者		大村	浩	君
教育委員会	事務局長			

職務のため出席した事務局職員

事務局	長	水島	康彦
主	任	水島	兼輔

(午前10時00分)

◇開会の宣告

○議長（中陣將夫君） 皆さん、おはようございます。

ただいまの出席議員数は10人で、定足数に達しておりますので、これより平成22年第3回朝日町議会臨時会を開催し、直ちに本日の会議を開きます。

◇日程の報告

○議長（中陣將夫君） 議事の日程は、お手元に配付したとおりであります。

会議の運営につきましては、格段のご協力をお願いいたします。

◇会議録署名議員の指名

○議長（中陣將夫君） これより、本日の日程に入ります。

会議録署名議員の指名を行います。

3番 水 島 一 友 君

4番 大 森 憲 平 君

を指名いたします。

◇会期の決定

○議長（中陣將夫君） 次に、会期の決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。

今期臨時会の会期は、本日1日といたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（中陣將夫君） ご異議なしと認めます。

よって、今期臨時会の会期は、本日1日と決定いたしました。

◇議案第38号から議案第40号まで

○議長（中陣將夫君） これより、議案第38号 朝日町立朝日中学校改築工事建築主体工事請負契約締結に関する件、議案第39号 朝日町立朝日中学校改築工事電気設備工事請負契約締結に関する件、議案第40号 朝日町立朝日中学校改築工事機械設備工事請負契約締結に関する件の3議案を一括議題といたします。

提案理由説明

○議長（中陣將夫君） 提案理由の説明を求めます。

脇町長。

〔町長 脇四計夫君 登壇〕

○町長（脇四計夫君） それでは、平成22年第3回朝日町議会臨時会に提出いたしました議案について、その概要をご説明申し上げます。

議案第38号 朝日町立朝日中学校改築工事建築主体工事請負契約締結に関する件は、同工事について、近藤建設・若林建工朝日町立朝日中学校改築工事建築主体工事共同企業体と6億2,580万円で契約を締結しようとするものであります。

議案第39号 朝日町立朝日中学校改築工事電気設備工事請負契約締結に関する件は、同工事について、開進堂・長島電気工事朝日町立朝日中学校改築工事電気設備工事共同企業体と9,943万5,000円で契約を締結しようとするものであります。

議案第40号 朝日町立朝日中学校改築工事機械設備工事請負契約締結に関する件は、同工事について、吉枝工業・氷見工業所朝日町立朝日中学校改築工事機械設備工事共同企業体と1億5,624万円で契約を締結しようとするものであります。

以上、本臨時会に提案いたしました諸案件についての説明といたします。

何とぞご審議の上、議決を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（中陣將夫君） どうもご苦労さまでした。

これより、議案の細部説明を行います。

説明は休憩中に行います。

この際、暫時休憩いたします。

（午前10時04分）

〔休憩中に、総務部長（竹内寿実君）が議案第38号から議案第40号までについて細部説明を行う〕

(午前10時09分)

○議長（中陣將夫君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

質 疑

○議長（中陣將夫君） これより、上程されております議案第38号 朝日町立朝日中学校改築工事建築主体工事請負契約締結に関する件、議案第39号 朝日町立朝日中学校改築工事電気設備工事請負契約締結に関する件、議案第40号 朝日町立朝日中学校改築工事機械設備工事請負契約締結に関する件に対する質疑を行います。

ご承知のことではありますが、質疑に当たっては挙手をするとともに、発言ボタンを押していただきますようお願いいたします。

また、質疑は簡潔に、質疑に対する答弁は適切にお願いします。

順次、発言を許します。

水島一友君。

○3番（水島一友君） 協町長になって初めての大きい入札かなと思いますが、4点についてお聞かせください。

1点目は、この3つの議案で、地元業者が落札しているのが2社であったということの理由。それから、2つ目には、町の予算金額と落札金額の差をお願いします。それと、今回、この落札をされました近藤建設・若林建工の内情をしっかりと調査されておられるのか。それと、もう1点は、町では、最低基準、入札の取り決めはあるのか。以上、4点についてお聞かせをお願いします。

○議長（中陣將夫君） ただいまの水島一友君の質疑に対する答弁を求めます。

道用財務課長。

○財務課長（道用慎一君） すみません。2点目の予算との差につきましては、ちょっと今、数値的なものは、ここまで確認していなかったもので、後ほど答えさせていただきます。

1点目の地元業者2社の理由ということでありましたが、先ほど細部説明でも申し上げましたように、県東部の大手業者と町内業者を中心としたBグループということで企業体を7社組んで入札していただきました。建築主体工事につきましては、先ほどもありましたように、町内業者の若林建工さんが入っておられる企業体が落札をされました。2番目の電気工事につきましては、これも町内業者が4社入っておったわけではありますが、実際、落札されたのは、入善の業者さんと富山の業者さんで組まれた企業体が落札されました。3点

目の機械設備につきましても、町内業者4社入っておったわけですが、そのうちの町内業者さん1社と富山の業者で組まれた共同企業体が落札されたということで、結果的に建築主体工事と機械設備工事に町内業者さんが入ったということでもあります。

続きまして、3点目の内情を調査されたのかということでありましたが、建築主体工事につきましても、契約する前に——入札の札を入れていただいた後に最低落札業者さんをお呼びしまして、設計士のほうで内容を確認しております。指名委員会を1回開いて、その上で設計業者のサン・プランニングの立ち会いのもと、内容を調査して、それでいけるということで落札をいたしました。2点目の電気工事につきましても、同じように入札をしていただいた後に指名委員会を開催いたしまして、設計業者のサン・プランニングさんのほうで最低価格の業者さんから見積もり、積算書を提出していただいて、その内容を精査して、その結果、積算漏れ等もなく、業者さんの努力によるものということを確認して、その上で指名委員会で業者を決定して落札しております。

4点目の最低制限価格につきましても、従来から町のほうでは設けておりません。

○議長（中陣將夫君） 教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（大村 浩君） 2点目にご質問がありました予算の額について説明をさせていただきます。

中学校の改築事業につきましては、平成21年度の3月補正及び22年度の当初予算の継続費のほうに、設計監理費を含めまして11億7,056万9,000円で予算を計上しています。そのうち、その設計監理が含まれているものですから、本体工事としての予算につきましては、11億5,218万1,000円です。

今回のトータルの契約額と差がありますが、差し引きしますと、2億7,070万6,000円でございます。

以上です。

○議長（中陣將夫君） ただいまの答弁でよろしいですか。

水島一友君。

○3番（水島一友君） 答弁、ありがとうございます。

町長につきましては、いつも地元企業優先というような話の中で、今回こういった入札をされたのは、私としては大変不服であります。

というのは、例題になりますけれども、魚津市、これも魚津西部中学校の耐震工事、12億3,000万ほどの工事をしておられますが、地元業者5社でJVを組んで仕事をしておるわけで

あります。

私が申し上げたいのは、なぜ地元企業優先と言いながら、こういった入札をされたのか。朝日町にも多くの業者がおられるわけでありまして。今、この5億9,600万円で落札をすれば、当然この近藤・若林JVでは下請けが必要になってきますけれども、その下請けについてもたたかれるだけたたかれて赤字でやれるのかといいますと、まずこの下新川東部くらいでは無理です。そうすると、とんでもないところから下請け業者を呼んでくるというようなことが実際に新幹線工事でもありましたので、そういったことを私は今心配して、こういうことを質問させていただいております。

やはり地元業者を大切にするという考えが一番必要ではないかなと思いますが、そのへん、町長の考えをお聞きしたいのと、それから高岡市とか県では工事の品質を確保するために、基準より低い価格で入札があった場合に調査をさせているというのが、これは県の発注でも、市の発注工事でも何かあると聞いております。朝日町も今後、こういったようなやり方をする必要があるのでないかなと。それと、もう1点は、終末処理場で工事をされた方が倒産をされたというようなこともあって、近藤建設の内情をはっきり調査されたのかということも質問しましたので、その点について、再度答弁願います。

○議長（中陣將夫君） ただいまの質問に対する答弁を求めます。

道用財務課長。

○財務課長（道用慎一君） 町長さんへの質問については、ちょっと私のほうでは控えさせていただきまして、2番目の近藤建設の内情を調査されたのかということでありましたが、町のほうへは2年に1度、指名願いを出していただいております。その時点で職員数ですとか、会社の事業規模、それと2年間分の会社の経営状況を示した決算状況をつけていただいております。そういうものを、内情を確認した上で町のほうでは業者を指名しております。

○議長（中陣將夫君） 脇町長。

○町長（脇四計夫君） ただいまの水島議員の質問に対して答えたいと思います。

私は、かねてより地域経済に優先の公共事業の発注を言っております。また、今回の事業におきましても、できるだけ地元業者に参加してもらおうということで指名の入札といたしました。

先ほど財務課長からも話がありましたが、3,000万以上につきましては、7社以上のジョイントで入札をやるという当町の基準でありますので、たまたま電気工事につきましては、7社の業者がいなかったということから近隣の業者も、県東部の業者も入れた形で7組の入札

ということになりました。それで、基準以下の入札についてきっちりとしたのかということにつきましては、先ほど財務課長からも話がありましたように、設計監理の担当者も入れて、それで1つ1つその入札の根拠を調査いたしまして、基準以下ではあるけれども適正だという判断に至ったということでもあります。

それで、地元の経済優先ということにつきましては、入札の際にも、落札業者に地元業者を下請、孫請に入れてほしいということ、それから建設資材につきましても、町内で調達できるものは調達するよというふうなことで指示をしておりますので、どうぞそのようなことについても努力をしているということをご配慮いただきたいというふうに思います。

○議長（中陣將夫君） ただいまの答弁でよろしいですか。

水島一友君。

○3番（水島一友君） 「よろしく願います」というのはわかりますが、やはり今後どういうふうに考えていかれるのかというのが、私はその答弁をお聞きしたかったわけでありませす。

やはりこれ、入札の契約過程を見せていただきますと、一番高いのと安いので、先ほどの教育委員会の事務局長の説明でもありましたように、すべて合わせて2億円ぐらいの差なんですよね。11億5,000万円の仕事で2億の差が出てくるということは、当然削られていくということでもありますので、まず朝日町の業者は泣きをみるしかない。そういった入札は、今後ぜひとも考えていただきたいなど。

もうこれから大型事業というのは、朝日町にはありません。しかしながら、朝日町の多くのこういった事業がありますが、ただいま朝日町で頑張っていけるのが下水道事業だけ。この唯一の中学校の改築についても、地元業者が入っても、恐らく割合的にいけば、7対3か8対2ぐらいで大手に持っていかれるというのが、これは当然のことであると思いますので、そういったことが絶対ないように——もう一度確認しますが、朝日町の業者で3社、4社ぐらいのJVを組んでこの朝日中学校の仕事もできるわけでもありますので、そういったことを今後、ほかの仕事の割合等で私は絶対にやっていただきたいというふうに思います。

この朝日中学校の改築工事についても、地元の人たちが一番楽しみにしておる工事でもありますので、魚津市のようなやり方が今後できないのか、もう一度検討していただかなければいけないのではないかなというふうに思います。それと、最低基準入札価格あたりも取り決めて、それ以上低かった場合には、再度調査をしていただくというような方法をとっていただかなければいけないのではないかなと思います。

したがいまして——これ、3回目ですので、これで終わりでしょう、議長。

○議長（中陣將夫君）　そうです。

○3番（水島一友君）　3回目でありますので、こういった苦情を申し上げながら、私は反対の立場に立って、今、質問させていただきました。

○議長（中陣將夫君）　要望——質問ですか。

○3番（水島一友君）　これで終わります。

○議長（中陣將夫君）　そうしたら、よろしいですね、答弁は。

○3番（水島一友君）　いや、答弁もしてください。

○議長（中陣將夫君）　脇町長。

○町長（脇四計夫君）　請負金額の割合の話がありましたのでお答えしたいと思います。従来ですと、この規模の場合はゼネコンを取り入れたジョイントを組むということが多かったかと思います。皆さんの、町民の税金で町の施設を建てるということでもありますので、できるだけ地元の業者の割合が多くなるようにということも配慮をいたしました。

ゼネコンの場合は、ご承知かと思いますが、6割以上のお金が東京の業者に行ってしまうわけでありまして。残りを、ジョイントを組んでおるところと下請とでやるということでもありますので、そういう意味では、私は地元経済に対する効果は、今回のほうがより大きいものがあるというふうに考えております。

ですから、価格が安過ぎるのではないかということについては、指名競争入札の性格からいきまして、一番低いところで落札をするということでもあります。

それと、町内3社あれば3社で共同企業体を組めばいいではないかというお話もありました。電気工事については、先ほども説明をいたしました。7社を満たすことができなかつた。ただ、入札という制度自体の基本を崩すこともいかなものかというふうなことから、東部の業者も入れた形で7組組みました。もちろん町内の業者も指名の中に入っていたわけでありまして、残念ながら最低価格を入札された業者の中に、ジョイントの中にその町内業者が入ってなかったということでもあります。

私は、今度の中学校の改築工事、これは議員が言われるように、今後このような大きな工事が予想されるのかどうかと思います。しかし、この中学校の工事が、期日が、先ほども細部説明でありました3月25日という一定の期間の中で見事に地元業者の皆さんの力で完成できれば、大きな評価がいただけるのではないかというふうに思いますし、この事業に参加された業者の皆さんの技術も向上する、また評価も高まるというふうに考えておりますので、

その点についても補足して説明をさせていただきます。

よろしく申し上げます。

○議長（中陣將夫君） ほかに質疑はございませんか。

〔「2点」の声あり〕

○議長（中陣將夫君） 答弁漏れ？

〔「最低価格の取り決め。今後、予定」の声あり〕

○議長（中陣將夫君） 竹内総務部長。

○総務部長（竹内寿実君） 最低制限価格の導入につきましては、今後県からの情報等を勘案しながら検討してまいりたいと思います。

○議長（中陣將夫君） ほかに質疑はございませんか。

大森憲平君。

○4番（大森憲平君） 4番の大森でございます。今、水島議員の趣旨がわかりました。私もそのように、同感でございます。

ただ、ちょっとお伺いしたいのは、この3つの入札で、まず本体価格が約120万、1位と2位との違いが。それから、電気のほうが実は1,630万も1位と2位との差があるわけですね。そうでしょう。そうすると、実際に9,000万ほどの見積もりの金額の中で、1,600万の安い金額で、それも町外から入札されたということは、果たして正確な工事ができるのかできないのか、当局にお伺いしたいと思います。

○議長（中陣將夫君） ただいまの質問に対する答弁を求めます。

道用財務課長。

○財務課長（道用慎一君） 先ほどもちょっと述べさせていただきましたが、電気設備工事につきましては、おっしゃるとおり、最低落札業者さんとその次の業者さんとの開きが大きかったということで、私どももそれができるのかということで、入札をしていただいた後、入札を一たんためまして、別室で指名委員会を開催いたしまして、その上で設計士と最低落札業者さん呼びまして、その最低落札業者さんから見積書を出していただきました。で、設計者のサン・プランニングシステムさんのほうと、うちの町の担当者が立ち会った上で、工事の内訳見積書を、内容を精査し、かつ聞き取りながら調査をいたしました。

その結果、器具の購入ルートなど独自のルートを使われておりまして、数量等につきましては間違いのないことでありましたので、自分のところで、安い単価で物を用意してくるということが確認できまして、その結果、企業努力として安い入札価格を出されたということ

でその妥当性を認めまして、その後、指名委員会を開きまして、その企業体さんを落札業者と決めたところであります。

○議長（中陣將夫君） ただいまの答弁でよろしいですか。

大森憲平君。

○4番（大森憲平君） その過程において、もし、「たら」「れば」ではちょっとおかしいのですけれども、何か問題が起きた場合には、設計業者が責任をとられるわけですか、それともこの電気工事をやったところが責任をとられるわけですか。今、そういう、改めて入札の段階で再調査してやられたということになりますと、管轄の設計事務所がOKしたから町が許したということになりますので、その点どのように考えておられるのか、ちょっとお聞きします。

○議長（中陣將夫君） 道用財務課長。

○財務課長（道用慎一君） 工事に当たりましては、設計業者さんを監理業者と指名いたしまして現場に設計士を常駐させます。常駐させた上で設計書のとおり工事が進むように指導・監督に当たりますので、何か起きるとことはあり得ないと考えております。

○議長（中陣將夫君） ただいまの答弁でよろしいですか。

○4番（大森憲平君） はい。

○議長（中陣將夫君） ほかに質疑はございませんか。

廣田 誼君。

○8番（廣田 誼君） 8番、廣田です。1つは、この指名競争入札された7社で企業体を組まれた。先ほど町長が、7社が基準だと言われました。そこらあたり指名検討委員会ですか、その中で基準はどうなって、本当に7社でやらざるを得ないのか。あるいは、町、小さい自治体の中で、今言う6社か7社か知りませんが、決められたそういう範囲の中で業者がないということは確かだと思います。そのことをわかりながらやられたということは、私は本当に遺憾であります。

今後、入札においても、答えてほしいのですが、6社か7社だと思いますが、それをいかにしながら適正価格でもって仕事をさせるという方向に持っていかないと、町の業者は一切請けられない状況が多分起きてくるだろうとっております。特に地元、弱小業者は資材も労働者も多分少ないだろうし、そのようなことで大きな工事になればなるほど資材、機材、それは、大きな業者は多分保管と言いましょうか、持っているだろうと。小さい業者は買わざるを得ないだろうと。もう1つ言いますと、労働者においても、小さい業者は、朝日町は

いるのかいないのか。大きな業者はどこでもおると思います。そのようなことを考えたときに、このような大きな、大切な事業を町以外の業者にやっていただくということは、私もまことに不快でありますし、賛成できるものではありません。

ですから、この指名競争——何と言うのですか、名前をちょっと忘れましたが、指名検討委員会ですか、このような制度も再度つくり直して、これにおける指名競争入札の根本的なことを検討していただきたい。

もう1つ言いますと、大事なこの臨時議会、副町長、教育長が提出されてもよかったんじゃないかなと思うときに、残念であります。

それらについて、再度お答えいただきたいと思います。

○議長（中陣將夫君） ただいまの質問に対する答弁を求めます。

道用財務課長。

○財務課長（道用慎一君） 朝日町がこれまで行ってきました大きな建設工事につきましては、ほとんどが国の補助金が入っております。その関係上、会計検査等を想定せざるを得ませんでしたので、基準に基づいた入札を今まで行ってきたわけであります。

町としては、業者の選定に当たりましては、町のほうの指名業者選定要領というものを制定しておりまして、それに基づいて業者のほうを選定してきておったわけでありますが、議員さんのおっしゃるように、今後はちょっとそのへんの見直しをしていきたいと、今、考えておるところであります。

○議長（中陣將夫君） ただいまの答弁でよろしいですか。

廣田 誼君。

○8番（廣田 誼君） 前向きに鋭意検討いただきたいと思います。

そこで、この入札ですが、やはりいろんな面で不信を持っておるのは私たち以外にも多々おられるわけであります。先ほど水島議員が言われましたように、町長の公約として地元の企業を使っていく方向にしたいと。そのあらわれが、ちょっとは見えるのですが、大きな見方からすると、不満が残っている今日じゃなかろうかと。

今ほど道用課長が言いましたように、この委員会制度、これが速やかにできるのかできないのか、時間がかかるのか、どれほどかかればその制度の変革と言いましょうか、改革ができるのか、そこらあたりわかればお願いいたします。

○議長（中陣將夫君） 入札適正化委員会の——竹内総務部長。

○総務部長（竹内寿実君） 期間につきましては、諸般の状況を検討しなければいけないもの

ですから明言できませんけれども、いろんな、今後の工事の入札の状況を踏まえつつ、今後検討していきたいと思っています。

○議長（中陣將夫君） ただいまの答弁でよろしいですか。

ほかに質疑は——水野仁士君。

○1番（水野仁士君） 1番の水野です。ちょっと話が重複するかと思いますが、町の当初予算が11億5,000万、それで落札が8億8,000万、その差額が2億7,000万と言われましたか……。

そうしますと、先ほどから答弁を聞いておられますと、品質には問題がないと。そうなってくると、この入札は、人件費にそのまましわ寄せが来ておるような入札じゃなかったかかと私は思っております。

そういうことで、やはり働く者の賃金は大事かと思えますけれども、こういう下請泣かせ、人件費切り詰めのような入札はいかかなものかと私は思います。それについて。

○議長（中陣將夫君） 道用財務課長。

○財務課長（道用慎一君） 先ほど総務部長もお答えしましたように、最低制限価格を設けるなどの検討をこれから行ってまいりたいと考えております。

○議長（中陣將夫君） ただいまの答弁でよろしいですか。

ほかに質疑はございませんか。

吉江守熙君。

○10番（吉江守熙君） 10番の吉江です。先ほどから質疑応答があったのですが、問題はこの学校を建てるのに、前町長がこれを企画したと思いますね、当然。私ら議会もそれに賛同しましたが、ただし、現町長が自分が立候補したときの公約をマニフェストの中にいろいろと言われましたね。わかっておりましょう。

そういう中で、これを何も早急にやらなきゃならないということは、私はないと思いますよ。直ちに耐震だの云々やる必要もないし、もう少し町長になられてから、いろんな規約、今総務部長も言いました、道用さんも言ったのだけれども、そういう中でそれをもっと慎重に審議されまして、町民が「ああ、なるほど」という納得いく時期まで、別に来年の3月までにやらなきゃならないという根拠はないと思います。そうでしょう。五箇庄小学校もしかりです。

そういうように延ばしていかれまして、もう少し時間があって、町民が納得できる時点で、そして納得できる入札をしていただきたかったなど、私はそういうふうに思っています。

以上です。

○議長（中陣將夫君） 協町長。

○町長（脇四計夫君） 建設を急ぐ必要はなかったのではないかというただいまの質疑ですけれども、実は議員もご承知のとおり、昨年度の予算と22年度の予算、2年度にわたった予算事業でありまして、ともに議会で承認をいただいておりますということです。その裏付けとして国の補助事業で建てるものでありまして、これについては来年の3月末までに4割が完成していないと補助がなくなるというものでありまして、私も就任のときに、既に決定されておる予算については誠実に執行をしていきたいというふうに述べたつもりであります、6月議会でもそのように述べたつもりであります、そういうことからして、手をつけざるを得ない部分があったということをご理解いただきたいというふうに思いますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

○議長（中陣將夫君） ただいまの答弁でよろしいですか。

吉江守熙君。

○10番（吉江守熙君） そうすると、それは前議会で可決しているのですけれども、その中で町長が言われたように、私は、あせるとか、そうではなくして、その4億の補助金、国からいただく4億について、もし朝日町がそれをキャンセルした場合は、国は、もちろん国庫に戻るとは思いますけれども、その戻った中から再度また慎重に審議して、よりよい予算を獲得するなり、よりよい設計もできたんじゃないかなと思いますので、新しい町長になったから、それをずーっとやるということは、3月の当初予算に基づいて、すべて同じようにやられますか。

○議長（中陣將夫君） 協町長。

○町長（脇四計夫君） 私も勉強不足のところがありますが、国の補助事業がついたものを返上した例が最近もありました。それは、新幹線の残土置き場のところに、道の駅の補助金をということで事業を予定しておりました。しかし、それは白紙撤回をされたということから、今回、今完成を直前にしておりますパークゴルフ事業については、一切国の補助が受けられないという事態が起こりました。

そういうふうなことから、これを白紙撤回してやることについては、私は町民の皆さんの合意は得られないと思いますが、どうでしょうか。

以上です。

○議長（中陣將夫君） ただいまの答弁でよろしいですか。

吉江守熙君。

○10番（吉江守熙君） 最後でございますので、そうしつこくは言いませんけれども、今後いろんなことが起きるであろうと思いますので、きちんと精査して、そしてきちんと決め事を決めて、そして上限・下限を決めた中での今後の入札、そして国補なり町の、我々の貴いお金を上手に運営していただきたいことを要望いたしまして終わります。

○議長（中陣將夫君） 脇町長。

○町長（脇四計夫君） たくさんの質疑を出していただきました。まだまだあるかと思ひます。もし議長に、許されることでしたら、ここで休憩を入れていただいて、全協の場でももっとフランクな質問がたくさんあるかと思ひます。私は、この採決を急がなくても、議員の皆さんの理解をいただく努力だけはさせていただきたいと思ひておりますので、議長にその方、ご検討いただきたいと思ひます。

○議長（中陣將夫君） この際、暫時休憩いたします。休憩中に議員協議会を開催しますので、直ちに全員協議会室にご参集ください。

（午前10時45分）

〔休憩中に全員協議会を開催〕

（午前11時48分）

○議長（中陣將夫君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（中陣將夫君） ないようなので、これをもって質疑を終結いたします。

討 論

○議長（中陣將夫君） これより、上程案件に対する討論を行います。

討論は、反対討論、賛成討論、反対討論というように交互に行います。

最初に、反対討論はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（中陣將夫君） 次に、賛成討論はございませんか。

稲村功君。

〔9番 稲村 功君 登壇〕

○9番（稲村 功君） 私は今議会に提案されました3件の朝日中学校の入札問題について、町長が述べられましたように、これまでにない画期的な入札方法でありまして、地域経済に

もたらす影響は非常に大きいものがあると思いますので、何分にも今回の入札制度を今後も継続されますように念じて、とにかく朝日町民の貴重な税金を投入するわけでありますから、地域経済に資するためにその公共事業を育成していただきたいと思って賛成の討論といたします。

○議長（中陣將夫君） 次に、反対討論はございませんか。

吉江守熙君。

〔10番 吉江守熙君 登壇〕

○10番（吉江守熙君） 同僚議員に反発するわけではありませんが、先ほどの議員協議会において、いろいろと本案の改革もしなきゃならないと。そして、この制度をそのまま持続するというように私は受け取りましたので反対をしますが、我々は現在の制度を町長さんに対して変えていただけないかと。

業者だけが潤う入札ではだめなんですよ。だから、その入札価格が適正な価格でもって、朝日町町民、いろんな生活の方がおられます。そのみんなが潤うような金の輪廻というか、金の回り方を考えて、そしてみんなが潤う、そういう入札の仕方を私はやっていただきたいということで、先ほどそういう協議の結果、されたことで、この現制度をそのまま持続というわけではありません。

そういうことを、よくよく考えて、そして今後の入札制度を新たな入札制度でやっていただきたいと願ひまして、私は反対討論に参加しました。

終わり。

○議長（中陣將夫君） ほかに討論はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（中陣將夫君） 討論がないようなので、これをもって上程案件に対する討論を終結いたします。

採 決

○議長（中陣將夫君） これより、上程されております議案第38号 朝日町立朝日中学校改築工事建築主体工事請負契約締結に関する件、議案第39号 朝日町立朝日中学校改築工事電気設備工事請負契約締結に関する件、議案第40号 朝日町立朝日中学校改築工事機械設備工事請負契約締結に関する件、以上3件を採決いたします。

お諮りいたします。

議案第38号から議案第40号までの3議案について、それぞれ原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔起立多数〕

○議長（中陣將夫君） 起立多数であります。

よって、議案第38号から議案第40号までの3議案については、それぞれ原案のとおり可決されました。

以上をもちまして、今期臨時会に付議されました案件の審議はすべて終了いたしました。

◇町長あいさつ

○議長（中陣將夫君） 次に、町長からあいさつがあります。

脇町長。

○町長（脇四計夫君） どうも本日の臨時会にご出席いただきまして、ありがとうございます。
た。

私どもの提案が説明不足の点もあったかと思えます。これから、地元経済優先の公共事業
推進のためにも全力で頑張っていきますので、議員各位のご協力を、ご理解をよろしくお願
いいたします。

どうもきょうはありがとうございました。

○議長（中陣將夫君） どうもご苦労さまでした。

◇閉会の宣告

○議長（中陣將夫君） これをもって、平成22年第3回朝日町議会臨時会を閉会いたします。

皆さん、どうもご苦労さまでした。

（午前11時54分）